

ドライバーさん!

ちょっと

通して

おくれやす



どうぞ!

歩行者の交通事故は、道路を横断中に多く発生しています。道路を安全に横断するため、渡りたい意思を「合図」で伝え、ドライバーとのコミュニケーションを図る「合図横断」を実践しましょう!

「合図横断」ってどうすればいいの?

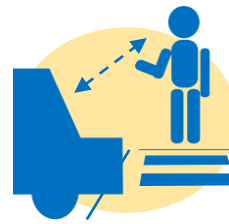
横断歩道の手前で止まって安全確認



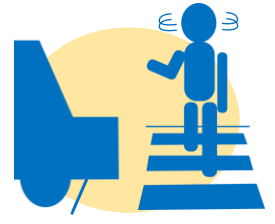
手のひらと顔をドライバーに向けて渡りたいという合図をする



車が止まればドライバーとアイコンタクト



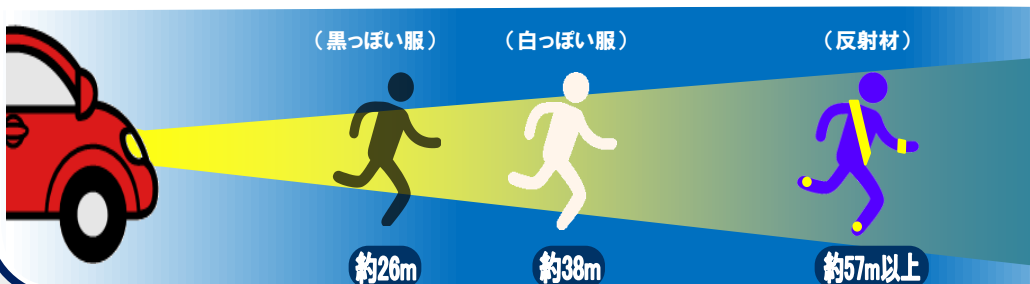
渡りながらも安全確認!



ドライバーへの「ありがとう」の気持ちが、コミュニケーションを更に深めます!

暗くなれば、目立って安全!

夕暮れ時から夜間は、周りが見えにくくなります。ドライバーから早く発見されるよう、反射材等を活用して、「見える」工夫をしましょう。



京都府警察